市内の遺跡をご紹介！

史跡（野田市指定）

岩名古墳

古墳時代終末期(7世紀)につくられた、円墳です。岩槻藩の儒学者・児玉南柯の日記に古墳に関する記述があり、江戸時代から古墳として知られていたようです。

昭和45年(1970)に野田市郷土博物館によって調査が行われ、直径は約20mで、周囲には溝が掘られていることがわかりました。横穴式の石室が残っており、直刀や鉄鏃などの副葬品が発見されました。

平成7年(1995)に野田市の史跡に指定され、公園として整備されています。

アクセス：まめバス　北ルート堤台／中ルート

「堤台松山」下車徒歩約5分